

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	見学実習	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部2年	学期及び曜時限	前期	教室名	各実習施設
担 当 教 員	本岡 健太郎				
実務経験と その関連資格	作業療法士として身体障害領域の病院に勤務。 各種心身機能・活動・面接に関する評価を実施。 日本作業療法士協会 臨床実習指導認定者 MTDLP基礎研修修了				
《授業科目における学習内容》					
1) 人間の個別化を大切にし、豊かな感性と品性を養う。 2) 作業療法に関する諸問題の解決に必要な専門知識を自ら学び、問題解決出来る能力を身に付ける。 3) 医療技術の変化を認識し、生涯教育の精神と習慣を学ばせ、科学技術の進歩に対応出来る姿勢を養う。 4) 医療チームの一員として、作業療法士の使命を自ら自覚し、倫理観・人間性の向上に努力し、人格尊厳の態度を養う。 5) 諸外国の作業療法情報収集・活用能力及び、語学力を高め、国際性を養い国際医療協力に生かす。					
《成績評価の方法と基準》					
・実習地での評価：80% ・学内発表：20%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
各実習施設で指示された教材。					
《授業外における学習方法》					
見学し疑問に思った点や分からないことについて、その場での質問や実習課題を通じて解決・理解をする。 実際の対象者に対し『生活行為聞き取りシート』を用いて、生活行為の目標を聞き、対象者についての理解を深める。					
《履修に当たっての留意点》					
臨床で働く作業療法士の想い・対象者の想い出来るかぎり多く触れ、作業療法の楽しさ・意義を学んでください。					
実習プログラム					
実習期間 時間数	2020年 8月24日～8月29日、(1日あたり約8時間)				
実習の目的	1) 本校の建学の理念(実学教育・人間教育・国際教育)を基本にグローバルな視点で知識・技術・技能を修得し、グローバルな環境で働く柔軟で行動派の作業療法士を養成する。 2) ノーマライゼーションの理念を十分に体得し、人間の基本的人権を尊重して仕事出来る作業療法士を養成する。 3) 周囲の支援を受けながらも対象者なりの自立を目指し、生きがいを持って人間らしく満足した生活が送れるように最大限の自立を支援出来る作業療法士を養成する。 4) 障害ばかりに目を向けるのではなく、健康科学の重要性を真に理解しその予防に貢献出来る作業療法士を養成する。 5) 学生個々の多様な能力や個性を生かして時代と社会の要請を実現出来る作業療法士を養成する。				
実習の内容	作業療法臨床実習の過程、また各過程における指導内容を「基本的態度」「臨床技能」「臨床思考過程」に分け、それらの項目を、見学一模倣一実施の教育課程の流れで指導をうける。 見学: 学生が臨床実習指導者の行う作業療法を解説を受けながら観察すること 模倣: 学生が臨床実習指導者の行う作業療法を指導を受けながら実際に行うこと 実践: 学生が臨床実習指導者の行う作業療法を監督の下、主体的に実際に行うこと 『生活行為聞き取りシート』を用いた対象者様の『目標とする生活行為の聞き取り、もしくは情報収集』 学校への提出課題 1) 実習スケジュール、2) 毎日の行動記録、3) 施設概要、4) リハビリテーション関連部門の見学のまとめ 5) 作業療法部門のまとめ、6) その他の記録、7) 実習を終えての感想・反省レポート 実習前に客観的応用能力評価試験(OSCE)を実施。接遇・リスク管理について学ぶ 実習後には実習発表会を行い、各自の実習での経験を発表する。また、発表前には発表レジュメを作成する。				

第 13 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 14 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 15 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			